

コスト等検証小委員会の 役割分担と名称の変更について（報告）

2025年1月15日
広域系統整備委員会事務局

広域系統整備委員会

- **主な討議事項：**
 - ・広域系統整備計画の計画策定プロセスに係る検討
 - ・広域系統整備計画の進捗管理（北海道本州間連系設備、東北東京間連系線、F C 増強、中部関西間連系線）
 - ・系統利用高度化（コネクト&マネージ）に係る検討
- **今後の懸案・課題：**
 - ・**東地域**：北海道本州間連系設備（日本海ルート）の整備計画の策定
 - ・**中西地域**：中国九州間連系設備の整備計画の策定
中部関西間連系線の整備計画（6/28策定済）
 - ・ノンファーム接続電源拡大に伴う長期の系統混雑見通しと対応
- **今後の開催見通し：**月 1 回程度

コスト等検証小委員会

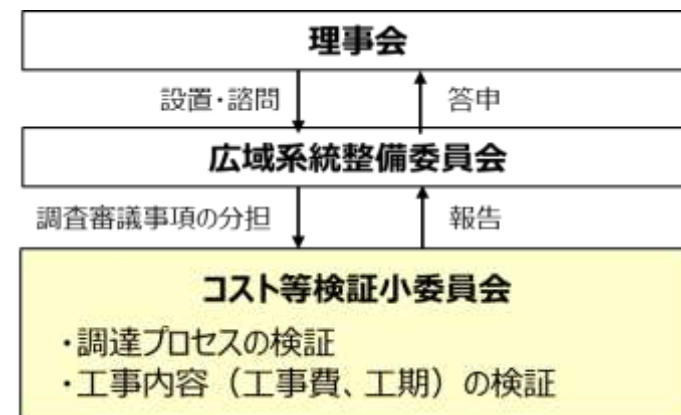
- **主な討議事項：**
 - ・広域系統整備計画の実施段階における調達プロセスおよび工事内容（工事費、工期）の検証
 - ・工事費、工期等の変動に対する内容の検証、コスト低減の促進
- **今後の懸案・課題：**
 - ・中部関西間連系線の整備計画における調達プロセス等の検証
 - ・工事実施中の整備計画について、工事費増加・工期変更等があった場合の検証
- **今後の開催見通し：**案件がある場合に 月 1 回程度

- 広域機関が策定した広域系統整備計画に基づき、事業実施主体が広域連系系統の整備を行うが、そのコスト等については、透明性や公平性の観点から、しっかりと検証していく必要がある。
- このため、広域系統整備委員会の下に、電気工学、経済学、企業会計及び電力設備工事等に関する専門知見を有する有識者からなるコスト等検証小委員会を設置。
- 本小委員会では、整備を進める中での工事費上昇や工期遅延につながる各変動リスクを把握し、更なるコスト低減等を目指すことを目的に、**広域系統整備計画策定後**、進捗把握をしていく中で、ルート調査、用地交渉、実施設計が大方完了し、工事の実施計画を策定する段階での調達プロセスや工事費、工期についての確認を実施。

検証時期のイメージ



調達プロセス、工事内容の検証体制



- 北海道本州間連系設備（日本海ルート）および中国九州間（関門）連系線の整備計画について、今後、実施案・事業実施主体の評価に進んでいくことから、実施案の技術的な評価にあたっては、より広く専門性の高い議論が必要となる。また、計画策定とその後のコスト検証についても一定の連続性を持った審議も必要と考える。
- これらを踏まえ、現在のコスト等検証小委員会の所掌に**計画策定段階での技術的な評価を加える**こととする。また、**コスト等検証小委員会の名称も変更**する。
- ただし、最終的な計画の策定は広域系統整備委員会にて審議を行う。

